

# Windows パソコン活用ガイド

## -PPP(Point to Point Protocol) 接続-

赤坂 浩一\* 石橋 勇人\*

### 1 はじめに

近頃、世の中で「インターネット」というキーワードが当たり前に使われ、いろいろな場面に、WWW(World Wide Web)のホームページのアドレス(URL)や電子メールアドレスが書かれていたりします。今では、WWWや電子メールなどインターネットを利用した情報交換は、日常茶飯事となりつつあるように思えます。

これまでは、WWWや電子メールなどを利用するためには、インターネットに接続された研究室の計算機を使って利用する形態が一般的でしたが、近年は、自宅からパーソナルコンピュータ(以下、PC)を電話回線を介してインターネットに接続して、WWWや電子メールを利用する形態が増えてきています。

このような接続はダイヤルアップIP接続と呼ばれ、自宅のPCとインターネットに接続された計算機との間をPPP(Point to Point Protocol)で接続しています。(図1)

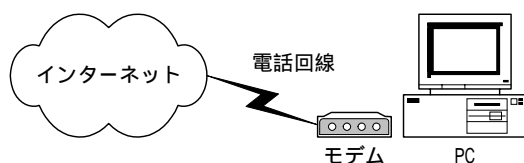


図 1. 概念図

本センターでも、昨年より PPP 接続のサービスを行っており、本センターに利用申請されている方は、どなたでもこのサービスを利用することができます。ここでは、Microsoft Windows95 の動作する PC を例にして、PPP 接続するための各種設定、PPP 接続での WWW や電子メールなどを利用するための設定を紹介します。

### 2 用意するもの

PPP 接続するために必要なものは、次の四つです。この四つの内、どれか一つでも欠けると PPP 接続ができませんので、必ず用意してください。

- PC
- モデム
- 電話回線
- 本センターのアカウント

それぞれ、もう少し詳しく見てみましょう。

#### 2.1 PC

PC は、Microsoft Windows95 が動作するものを用意してください。CPU やメモリなどスペック的なことには触れませんので、最新の PC でも、一世代前の PC でも構いません。もちろん、デスクトップ型でもノート型でも結構です。

#### 2.2 モデム

モデムは、PC に内蔵するタイプでも、PC のシリアルポート (RS-232C) に接続する外付けタイプでも構いません。ノート型 PC の場合、PCMCIA カード型のモデムもありますが、こちらでも構いません。お使いになる PC で正常に動作するモデムを用意してください。

センター側のモデムは、1200 ~ 28800bps まで対応していますが、最低でも 9600bps 以上の速度で通信できるモデムを用意してください。

#### 2.3 電話回線

電話回線は、一般的な NTT のアナログ回線を用意してください。近頃流行りの ISDN はまた別の機会に紹介します。また、携帯電話や PHS を利用す

\* あかさか ひろかず , いしばし はやと (京都大学大型計算機センター)

表 1. PPP 接続を利用する場合の利用負担金

|                   |          |
|-------------------|----------|
| 1ヶ月の接続時間が         |          |
| 100 分までの場合 1 分につき | 5 円      |
| 100 分以上の場合        | 月額 500 円 |

る方法もありますが、あまり一般的でないので、今回は、一般の家庭にある普通のアナログ回線で利用する方法を紹介します。

## 2.4 本センターのアカウント

本センターに PPP 接続するためには、必ず、アカウントが必要です。PPP 接続を開始するときに利用者の認証が行われますので、アカウントをお持ちでない方は、利用することができません。

なお、PPP 接続サービスは、表 1 のような利用負担金を頂いています。

また、利用負担金には「利用区分に従い算出した利用負担金の額を月ごとに集計した合計額に 100 分の 5 を乗じて得た額」を各利用区分共通負担額として頂いています。

## 3 PPP 接続するための各種設定

それでは、PPP 接続するための各種設定を説明します。Windows95 が正常に動作していることを前提に説明しますので、PC 自身のセットアップや PC とモデム、モデムと電話回線の接続などは取扱い説明書などを読んで各自で行ってください。

### 3.1 モデム

Windows95 では、モデムなどの機器を接続すると自動的に検出し認識を行い、セットアップを開始します。モデムのマニュアルや Windows95 からの指示に従ってください。

正しくモデムがインストールされていれば、タスクバーの「スタート」をクリックしてメニューから、「設定」「コントロールパネル」をクリックして、コントロールパネルのウィンドウから「モデム」のアイコンをクリックすると、「モデムのプロパティ」のウィンドウが開き、セットアップされているモデムが確認できます。(図 2)



図 2. モデムのプロパティ

図 2 では、合計 3 台のモデムがインストールされています。

ここで、注意しておきたいことは、「ダイヤルのプロパティ」です。自宅のアナログ回線のダイヤル方法にあわせて、トーン か パルス かを選択してください。

モデムのプロパティのウィンドウから「ダイヤルのプロパティ」をクリックすると「ダイヤルのプロパティ」のウィンドウが開きます。(図 3)



図 3. ダイヤルのプロパティ

トーンとは、ピポパ ~ でダイヤルする方式です。パルスは、昔の黒電話でお馴染みのダイヤルする数字の回数分のパルス信号を送信してダイヤルする方法です。

近頃の電話機は、プッシュボタンでダイヤルして内部でパルス信号を送信することができますので、電話機の外観からは判断できませんが、電話機

本体に必ず、「トーン」と「パルス(10P,20P)」の切り替えスイッチがあるので、そちらで判断できます。また、NTTの料金明細書に「プッシュ回線使用料」の項目があり、いくらか請求されている場合は、「トーン」です。

### 3.2 ダイアルアップネットワーク

PPP 接続を行うためには、ダイアルアップネットワークがインストールされていなければなりません。

デスクトップの左側の「マイコンピュータ」のアイコンをダブルクリック<sup>1</sup>して、「マイコンピュータ」のウィンドウを開きます。その中に、ダイアルアップネットワークのアイコンがあれば、既にインストールされています。(図4)



図 4. マイコンピュータ

インストールされていない場合は、タスクバーの「スタート」をクリックしてメニューから、「設定」「コントロールパネル」をクリックして、「コントロールパネル」のウィンドウから「アプリケーションの追加と削除」のアイコンをダブルクリックして、「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」のウィンドウを開きます。

「Windows ファイル」をクリックして、「通信」のチェックボックスをマークして、「詳細」をクリックすると、「通信」のウィンドウが開きますので、その中から、「ダイアルアップネットワーク」のチェックボックスをマークします。(図5)

「通信」のウィンドウ、「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」のウィンドウとも「OK」

<sup>1</sup>ダブルクリックが苦手な方は、アイコンをマウスの右ボタンでクリックして、「開く」としましょう



図 5. アプリケーションの追加と削除のプロパティ

をクリックして閉じると、ダイアルアップネットワークのインストールが完了します。

それでは、PPP 接続のためのダイアルアップネットワークの設定を行います。ここでは、接続名・モデムの選択・接続先の電話番号を設定します。

「マイコンピュータ」のアイコンをダブルクリックして、「マイコンピュータ」のウィンドウを開き、その中の「ダイアルアップネットワーク」のアイコンをダブルクリックして、「ダイアルアップネットワーク」のウィンドウを開きます。「新しい接続」のアイコンをダブルクリックすると、「新しい接続」のウィンドウが開きます。(図6)

接続名は、本センターへの PPP 接続であることがわかるような名前を書いておくとい良いでしょう。

「接続」のままでも差し支えありません。モデムの選択は、複数のモデムがセットアップされている場合は、複数のモデムが選択できますので、右側の下三角をクリックしてお使いになるモデムを選択してください。



図 6. 新しい接続 (その 1)

接続名とモデムの選択が完了したら、「次へ」をクリックして、次に接続先の電話番号を設定します。(図 7)



図 7. 新しい接続 (その 2)

接続先の電話番号は、075-753-7470 です。市外局番に 75、電話番号に 753-7470 を書き込みます。国番号は、右側の下三角をクリックして、日本 (81) を選択してください。

「次へ」をクリックすると、設定が完了した旨のメッセージが表示されますので、「完了」をクリックします。

### 3.3 ネットワーク

PPP 接続して、WWW や電子メールなどを利用するために、ネットワークの設定を行います。また、sakura のファイルシステムやプリンタなどネットワーク資源を PC から利用するための設定も同時に行います。

タスクバーの「スタート」をクリックしてメニューから、「設定」「コントロールパネル」をクリックして、「コントロールパネル」のウィンドウから「ネットワーク」のアイコンをダブルク

リックして、「ネットワーク」のウィンドウを開きます。(図 8)



図 8. ネットワーク

図 8 では、ネットワークアダプタとして、ダイヤルアップアダプタの他に 10baseT のイーサネットアダプタがインストールされています。

#### 3.3.1 プロトコルの設定

PPP 接続では、TCP/IP というプロトコルを利用しますので、「現在のネットワーク構成」に TCP/IP がインストールされていなければなりません。

インストールされていない場合は、次の手順でインストールしてください。

「追加」をクリックすると、「ネットワーク構成ファイルの追加」のウィンドウが開きます。「インストールするネットワーク構成ファイル」の中から、プロトコルをマウスで選択し、「追加」をクリックすると、「ネットワークプロトコルの選択」のウィンドウが開きますので、「製造元」から「Microsoft」をマウスで選択すると、「ネットワークプロトコル」として、いくつかの項目が選択できるようになります。この中から、「TCP/IP」を選択して、「OK」をクリックします。(図 9)

それでは、TCP/IP の設定を行います。

「現在のネットワーク構成」からインストールした TCP/IP または TCP/IP ダイヤルアップアダプタをマウスで選択して、「プロパティ」をクリックすると「TCP/IP のプロパティ」のウィンドウが開きます。

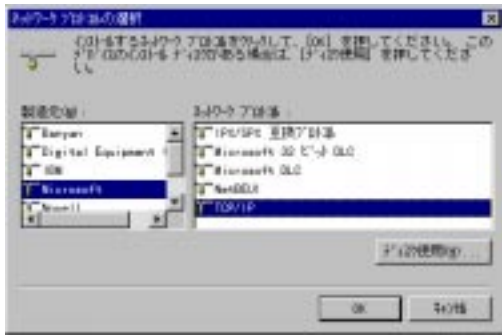


図 9. ネットワークプロトコルの選択

右から「IP アドレス」、「WINS 設定」、「ゲートウェイ」、「DNS 設定」、「詳細設定」、「バインド」があります。PPP 接続で利用しますので、「DNS 設定」を行います。「DNS 設定」をマウスでクリックしてください。(図 10)



図 10. TCP/IP のプロパティ

初期状態では、「DNS を使わない」のチェックボックスがマークされていますので、「DNS を使う」のチェックボックスをマークします。

「DNS を使う」の枠内のホストの欄に、ホスト名を記入します。ホスト名は、任意の文字列で構いませんが、他の人と同じ名前になるのは気が悪いので、ここでは、センターの利用番号に”pc”を付けて、w55037pc としてみました。

ドメインの欄には必ず、[kudpc.kyoto-u.ac.jp](http://kudpc.kyoto-u.ac.jp) と記入してください。

「DNS サーバの検索順」の  には、DNS サーバである sakura の IP アドレス、[130.54.9.11](http://130.54.9.11) を記入し、「追加」をマウスでクリックします。

書き込むときに、ピリオド (.) も含めてタイプすると、自動的に右にカーソルが移動します。

以上で TCP/IP の設定は完了です。「OK」をクリックして、「TCP/IP のプロパティ」のウィンドウを閉じます。

### 3.3.2 ネットワーククライアント

PPP 接続して、sakura のファイルシステムやプリンタを利用するためには、「現在のネットワーク構成」に Microsoft ネットワーククライアントがインストールされていないとなりません。

インストールされていない場合は、次の手順でインストールします。

ネットワーククライアントは、複数を同時にインストールできませんので、もし、他のネットワーククライアント<sup>2</sup>がインストールされている場合は、必要がなければそのネットワーククライアントをマウスで選択して、「削除」をクリックして削除してください。

「追加」をクリックすると、「ネットワーク構成ファイルの追加」のウィンドウが開きます。「インストールするネットワーク構成ファイル」の中から、クライアントをマウスで選択し、「追加」をクリックすると、「ネットワーククライアントの選択」のウィンドウが開きますので、「製造元」から「Microsoft」をマウスで選択すると、「ネットワーククライアント」として、いくつかの項目が選択できるようになります。この中から、「Microsoft ネットワーククライアント」を選択して、「OK」をクリックします。(図 11)



図 11. ネットワーククライアントの選択

<sup>2</sup>NetWare ネットワーククライアントなど

Microsoft ネットワーククライアントをインストールすると、「ネットワーク」のウィンドウにネットワークの設定の他に、ユーザー情報とアクセス権の管理が追加されました。また、「優先的にログオンする」に Microsoft ネットワーククライアントが選択されました。(図 12)



図 12. ネットワーク

PPP 接続したネットワーク環境で、PC を認識するためにユーザー情報を設定します。

「ユーザー情報」をマウスでクリックして、コンピュータ名・ワークグループを記入します。コンピュータの説明は特に必要ありませんので、ここでは省略します。

コンピュータ名には、先ほどの TCP/IP ダイアルアップアダプタの「DNS 設定」のホストと同じ名前の方が、解りやすいので同じように w55037pc と記入します。ワークグループには、kudpc を記入してください。(図 13)

これで、ネットワークの設定は、すべて完了です。「OK」をクリックして、「ネットワーク」のウィンドウを閉じます。

「システム設定の変更」のウィンドウが開き、再起動するかどうかの問い合わせには、「はい」をクリックして、再起動します。(図 14)

システム設定を変更するために、自動的にいろいろなファイルのコピーを行います。もし、途中で「バージョンの競合」のウィンドウが開いた場合は、システムの指示に従ってください。大抵、コピーするファイルより新しいファイルが既に存在しているので、そのまま使用するかどうかの問



図 13. ユーザー情報

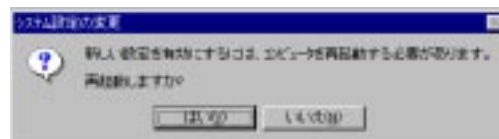


図 14. システム設定の変更

せですので、「はい」をクリックしてください。

PC の再起動が完了すると、「ネットワークパスワードの入力」のウィンドウが開きますので、ユーザー名とパスワードを入力します。(図 15)



図 15. ネットワークパスワードの入力

ユーザー名とパスワードには、本センターの利用番号とパスワードを入力してください。何があっても、自分の名前を入力したいとおっしゃる方は、仕方ありませんが、できる限り本センターの利用番号をユーザー名に入力してください。

センターの利用番号は「利用承認書」の先頭英字と 5 桁の数字です。なお、先頭の英字は、必ず、英小文字で入力してください。

ユーザー名の欄に、利用番号 を記入し、**Tab** キーを押して、カーソルをパスワードの欄に移動さ

せて、パスワードを記入して、**Enter**キーを押すか、「OK」をマウスでクリックしてください。

これで、PPP 接続するための準備は整いました。

#### 4 PPP 接続の実行方法

「マイコンピュータ」のアイコンをダブルクリックして、「マイコンピュータ」のウィンドウを開き、その中から「ダイヤルアップネットワーク」のアイコンをダブルクリックして、「ダイヤルアップネットワーク」のウィンドウを開き、先ほど設定した PPP 接続用のアイコンをダブルクリックすると、「接続」のウィンドウが開きます。(図 16)



図 16. 接続

ユーザー名とパスワードに、本センターの利用番号とパスワードを記入します。パスワードの保存のチェックボックスをマークしておくで次回からパスワードの入力は省略することができます。

本センターの汎用計算機システム (MSP) 以外の計算機システムでは、利用番号やパスワードで使用できる英文字は大文字小文字の区別がありますので、注意してください。利用番号の先頭は必ず英小文字ですので間違わないでください。

「接続」をクリックすると、ダイヤルを開始し相手先に接続するとユーザー名とパスワードの認証を行い、PPP 接続が完了する「ダイヤルアップネットワーク」のウィンドウが開きます。(図 17)

PC は電話回線を使って PPP 接続されました。これで、電子メールや WWW などのインターネットのサービスを受ける準備ができました。

なお、PPP 接続を終了する場合は、PPP 接続して利用するアプリケーション<sup>3</sup>を必ず先に終了し

<sup>3</sup>Microsoft Internet Explorer, Netscape Navigator など

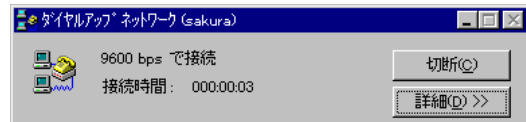


図 17. ダイヤルアップネットワーク (sakura)

てから、図 17の「切断」をクリックして終了してください。

#### 5 アプリケーションの利用

ここでは、WWW や電子メール・ネットニュースなどを利用するためのアプリケーションとして、Microsoft インターネットエクスプローラ 3.02 を例として、設定方法を簡単に紹介します。

Netscape Navigator でも、同様に WWW ・電子メール・ネットニュースを利用することができますが、Microsoft インターネットエクスプローラ 3.02 は、起動時に接続方法として PPP 接続を選べるので、こちらを中心に話をすすめます。

もし、インターネットエクスプローラをお持ちでない方や古いバージョンをお使いの方は、Microsoft 社のホームページから最新バージョンを入手するか、後で紹介する 6の方法で、Microsoft インターネットエクスプローラ 3.02 をインストールすることができます。ホームページのアドレス (URL) は、<http://www.microsoft.com/Japan/>です。

お使いのインターネットエクスプローラのバージョンを調べるには、インターネットエクスプローラのウィンドウのツールバーから「ヘルプ」をクリックしてメニューを開き、「バージョン情報」をクリックすると、「インターネットエクスプローラのバージョン情報」のウィンドウが開きますので、そちらで確認することができます。

##### 5.1 インターネットエクスプローラの設定

インターネットエクスプローラがインストールされている環境では、デスクトップの左端に「インターネット」のアイコンがありますので、このアイコンをマウスでダブルクリックします。

インターネットエクスプローラを初めて起動すると、「インターネット接続ウィザード」のウィンドウが開きますので、このウィザードに従って設定

します。「次へ」をクリックすると、セットアップオプションの選択のウィンドウに切り替わりますので、手動のチェックボックスをマークして、「次へ」をクリックします。(図 18)



図 18. インターネット接続ウィザード

インターネットセットアップウィザードのウィンドウに切り替わり、「次へ」をクリックすると、接続方法の選択のウィンドウに切り替わりますので、電話回線を使って接続するのチェックボックスをマークして、「次へ」をクリックします。(図 19)



図 19. 接続方法

インターネットメールの選択のウィンドウでは、そのまま行うのチェックボックスをマークしたまま、「次へ」をクリックします。次に、ファイルのインストールのウィンドウに切り替わるので、メッセージに従って「次へ」をクリックします。(図 20)

必要なファイルのインストールが完了すると、モデムの選択のウィンドウに切り替わりますので、使用するモデムを選択して、「次へ」をクリックすると、次にサービスプロバイダ情報のウィンドウに切り替わりますので、サービスプロバイダ名の欄に、ダイヤルアップネットワークで設定した PPP 接続名を選んで、「次へ」をクリックします。(図 21)



図 20. ファイルのインストール



図 21. サービスプロバイダ情報

次の電話番号のウィンドウでは、電話番号を確認してください。753-7470 以外の場合は、ここで修正して、よろしければ「次へ」をクリックします。次のユーザー名とパスワードのウィンドウでは、ユーザー名とパスワードの欄に、本センターの利用番号とパスワードを入力して、「次へ」をクリックします。

IP アドレスのウィンドウでは、インターネットサービスプロバイダが自動的に割り当てるのチェックボックスをマークし、「次へ」をクリックすると、次に DNS サーバーアドレスのウィンドウに切り替わります。(図 22)



図 22. DNS サーバーアドレス



DNS サーバーの欄には、130.54.9.11 を記入します。別の DNS サーバーの欄は、空白のまま構いません。「次へ」をクリックすると、インターネットメールのウィンドウに切り替わりました。(図 23)



図 23. インターネット メール

インターネットメールを使うのチェックボックスをマークし、電子メールのアドレスの欄に、利用番号 @sakura.kudpc.kyoto-u.ac.jp を記入します。インターネットメールのサーバーの欄には、sakura.kudpc.kyoto-u.ac.jp を記入して、「次へ」をクリックすると、設定完了!のウィンドウに切り替わりますので、「完了」をクリックします。

これで、インターネットエクスプローラを起動する準備が整いました。PPP 接続して WWW を利用する場合は、プロキシサーバーの設定が必要です。これは、PPP 接続先の計算機が sakura を経由してインターネットに接続されているからです。

デスクトップのインターネットのアイコンをマウスの右ボタンでクリックするとメニューが開きますので、その中から、「プロパティ」をクリックすると、「インターネットのプロパティ」のウィンドウが開きます。

右から、「詳細設定」、「セキュリティ」、「プログラム」、「ページ」、「接続」、「情報」があります。

Microsoft インターネットエクスプローラ 3.02 では、sakura の情報を使用して自動的にプロキシサーバーを設定することができます。「詳細設定」をクリックしてウィンドウを切り替え、「自動設定」をクリックすると、「自動設定」のウィンドウが開きます。(図 24)



図 24. 自動設定

URL の欄に、http://www.users.kudpc.kyoto-u.ac.jp/proxy.pac を記入し、「OK」をクリックして、「自動設定」のウィンドウを閉じます。

次に「インターネットのプロパティ」のウィンドウの「ページ」をクリックして、「ページの変更」の枠内のアドレスの欄に、本センターのホームページの URL、http://www.kudpc.kyoto-u.ac.jp/ を記入して、「OK」をクリックします。

これで、すべての設定が完了しました。デスクトップの「インターネット」のアイコンをダブルクリックすると、PPP 接続するためのウィンドウが開きますので、ユーザー名、パスワードなどを確認して、「接続」をクリックすると PPP 接続を開始します。

PPP 接続が完了すると、続いてインターネットエクスプローラのウィンドウが開き、本センターのホームページが表示されます。(図 25)

インターネットエクスプローラの使い方は、紙面の関係からここでは省略します。

インターネットエクスプローラの終了は、ツールバーの「ファイル」をマウスでクリックし、メニューから「閉じる」を選んで終了します。インターネットエクスプローラを終了すると PPP 接続は、自動的に切断されます。



図 25. インターネットエクスプローラ

ブラウザとして、Netscape Navigator を使用されている方も、プロキシサーバーの設定を忘れると PPP 接続では、WWW の利用ができませんので、必ず設定して下さい。

Netscape Navigator でもプロキシサーバーの自動設定が可能です。ツールバーの「オプション」をクリックしてメニューを開き、その中から「ネットワークの設定」をクリックして、「プロキシ」を選んで設定します。(図 26)



図 26. Netscape Navigator の自動設定

自動でプロキシを設定のチェックボックスをマークし、設定場所の欄に、<http://www.users.kudpc.kyoto-u.ac.jp/proxy.pac> を記入します。

## 5.2 インターネットメールの設定

ここでは、インターネットメールで電子メールを利用するための設定を紹介します。

インターネットメールは、Microsoft インターネットエクスプローラ 3.02 をインストールするときに同時にインストールされます。

タスクバーの「スタート」をクリックしてメニューから、「プログラム」「Internet Mail」をクリックすると、「インターネットメール」のウィンドウが開きます。

初めて起動した場合は、「Internet Mail 設定」のウィンドウが開きますので、このウィザードに従って設定を行いますので、「次へ」をクリックしてください。(図 27)



図 27. Internet Mail 設定

名前の欄には、自分の名前を記入します。電子メールアドレスには、[利用番号@sakura.kudpc.kyoto-u.ac.jp](mailto:利用番号@sakura.kudpc.kyoto-u.ac.jp) を記入し、「次へ」をクリックします。

メールの送受信サーバーの設定のウィンドウに切り替わりました。受信メール (POP3) サーバーの欄には、[sakura.kudpc.kyoto-u.ac.jp](mailto:sakura.kudpc.kyoto-u.ac.jp) を記入し、送信メール (SMTP) サーバーの欄にも、同じように [sakura.kudpc.kyoto-u.ac.jp](mailto:sakura.kudpc.kyoto-u.ac.jp) を記入して、「次へ」をクリックします。(図 28)



図 28. 送受信サーバー設定

電子メールアカウントのログオン方法のウィンドウでは、次のアカウント名とパスワードでログオンするのチェックボックスをマークし、アカウント名とパスワードの欄には、本センターの利用番号とパ

パスワードを記入し、「次へ」をクリックします。

メールの送受信サーバーへの接続方法のウィンドウでは、モデムを使用して電子メールへアクセスするのチェックボックスをマークし、次のダイアルアップ接続を使用するの欄に、先ほど設定した PPP 接続用の接続先を選び、「次へ」をクリックします。(図 29)



図 29. 送受信サーバーへの接続方法

これで、設定は完了です。「完了」をクリックすると、「Internet Mail 設定」のウィンドウが閉じます。

それでは、ここで「テキスト形式の設定」を行います。「インターネットメール」のウィンドウのツールバーの「メール」をクリックしてメニューを開き、その中から「オプション」を選びクリックすると、「オプション」のウィンドウが開きます。

「オプション」のウィンドウには、右から「接続」、「署名」、「スペルチェック」、「フォント」、「サーバー」、「読み取り」、「送信」があります。「テキスト形式の設定」は、「送信」で行います。

メール送信の形式の枠内のテキスト形式のチェックボックスをマークして、「設定」をクリックします。(図 30)

「テキスト形式の設定」のウィンドウが開きました。メッセージ形式の枠内の MIME のチェックボックスをマークし、エンコード方法は、なしを選んで、「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じます。(図 31)

次に、電子メールの送受信の時だけ、PPP 接続を行うように設定します。

「接続」をマウスでクリックして接続のウィンドウに切り替え、送受信が完了したら切断するのチェックボックスをマークし、「OK」をクリック



図 30. オプション

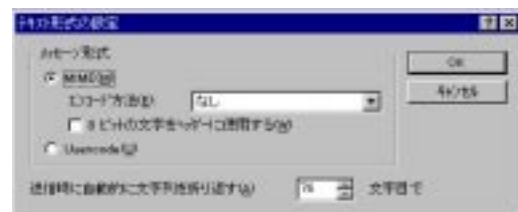


図 31. テキスト形式の設定

します。これで、インターネットメールの設定が完了しました。

「インターネットメール」のウィンドウの「送受信」アイコンをクリックすると、PPP 接続を開始し接続が完了すると、sakura に届いているメールの取込みと「送信トレイ」にある送信待ちメールの送信を行います。送受信が完了すると自動的に PPP 接続を終了します。

インターネットメールの使い方は、紙面の関係からここでは省略します。

インターネットメールの終了は、ツールバーの「ファイル」をマウスでクリックし、メニューから「閉じる」を選んで終了します。

### 5.3 インターネットニュースの設定

ここでは、インターネットニュースでネットニュースを利用するための設定を紹介します。

インターネットニュースは、Microsoft インターネットエクスプローラ 3.02 をインストールするときに同時にインストールされます。

タスクバーの「スタート」をクリックしてメニューから、「プログラム」「Internet News」をクリックすると、「インターネットニュース」のウィンドウが開きます。

初めて起動した場合は、「Internet News 設定」のウィンドウが開きますので、このウィザードに従って設定を行いますので、「次へ」をクリックしてください。(図 32)



図 32. Internet News 設定

インターネットメールと同じように、名前の欄には、自分の名前を記入します。電子メールアドレスには、利用番号@sakura.kudpc.kyoto-u.ac.jpを記入し、「次へ」をクリックします。

ニュースサーバの設定のウィンドウに切り替わりました。ネットニュースを利用するためのニュースサーバを指定します。ニュースサーバの欄には、news.kudpc.kyoto-u.ac.jpを記入して、「次へ」をクリックします。(図 33)



図 33. ニュースサーバ設定

ニュースサーバへの接続方法のウィンドウでは、モデムを使用して電子メールへアクセスするのチェックボックスをマークし、次のダイアルアップ接続を使用するの欄に、先ほど設定した PPP 接続用の接続先を選び、「次へ」をクリックします。(図 34)



図 34. ニュースサーバへの接続方法

これで、設定は完了です。「完了」をクリックすると、「Internet News 設定」のウィンドウが閉じ、PPP 接続するためのウィンドウが開きます。

ユーザー名、パスワードなどを確認して、「OK」をクリックすると PPP 接続を開始します。接続が完了するとニュースサーバから利用できるニュースグループの一覧をダウンロードします。(図 35)



図 35. ニュースグループのダウンロード

ダウンロードが完了すると、「ニュースグループ」のウィンドウが開きますので、ここで、購読するニュースグループを選択します。本センターでは、jccs.kyotoで始まるニュースグループを利用者向けの情報提供用に用意していますので、是非購読してください。

次の文字列を含んでいるニュースグループを表示の欄に、jccs.kyotoを記入すると、jccs.kyotoで始まるニュースグループが表示されます。ニュースグループをマウスで選択して、「購読」をクリックすると、ニュースグループ名の頭に購読マークのアイコンが付加されますので、同じ要領で他のニュースグループも購読します。「OK」をクリックすると、「ニュースグループ」のウィンドウが閉じます。(図 36)

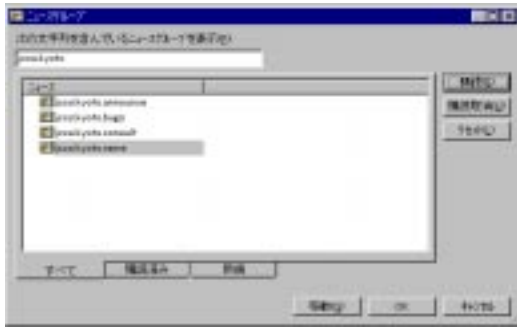


図 36. ニュースグループ

「インターネットニュース」のウィンドウには、購読マークをした先頭のニュースグループである jccs.kyoto.announce が選択され、ニュースサーバーからニュースグループのニュース記事の件名 (Subject) を読み込み、一覧として表示されます。(図 37)

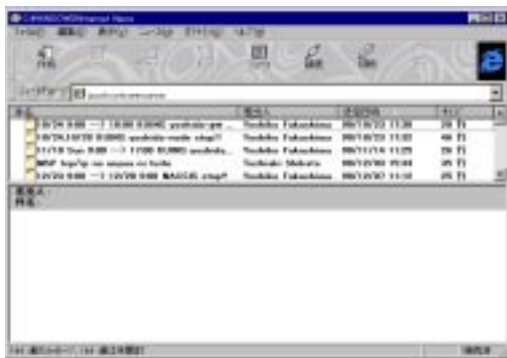


図 37. インターネットニュース

それでは、ここで「テキスト形式の設定」を行います。

「インターネットニュース」のウィンドウのツールバーの「ニュース」をクリックしてメニューを開き、その中から「オプション」を選びクリックすると、「オプション」のウィンドウが開きます。

「オプション」のウィンドウには、右から「詳細設定」、「署名」、「スペルチェック」、「フォント」、「サーバー」、「読み取り」、「送信」があります。「テキスト形式の設定」は、「送信」で行います。

メール送信の形式の枠内のテキスト形式のチェックボックスをマークして、「設定」をクリックします。(図 38)



図 38. オプション

「テキスト形式の設定」のウィンドウが開きました。メッセージ形式の枠内の MIME のチェックボックスをマークし、エンコード方法は、なしを選んで、「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じます。(図 39)



図 39. テキスト形式の設定

インターネットニュースは、インターネットメールと違って「利用する場合にのみ、PPP 接続する」設定はありませんので、PPP 接続を一旦終了する場合は、「切断」をクリックしてください。

ニュース記事を読むには、件名 (Subject) をマウスでクリックすると、ニュース記事の内容がウィンドウの下側に表示されます。ニュースグループの切り替えは、ニュースグループの右側の下三角をマウスでクリックして、一覧からニュースグループを選択します。

インターネットニュースの使い方は、紙面の関係からここでは省略します。

インターネットニュースの終了は、ツールバーの「ファイル」をマウスでクリックし、メニューから「閉じる」を選んで終了します。

## 6 sakura のファイルやプリンタの利用

PPP 接続した PC から sakura のファイルやプリンタを利用できるように、SAMBA が用意されています。ここでは、SAMBA を利用して sakura のファイルやプリンタの使い方を紹介します。

PC には、Microsoft ネットワーククライアントがインストールされていなければなりません、3.3.2 で、インストールは完了していますので、ここでは特別な設定は必要ありません。

それでは、「マイコンピュータ」のアイコンをダブルクリックして、「マイコンピュータのウィンドウを開き、その中から、「ダイヤルアップネットワーク」のアイコンをダブルクリックして、「ダイヤルアップネットワーク」のウィンドウを開き、PPP 接続用のアイコンをダブルクリックして接続します。

PPP 接続が完了しましたら、タスクバーの「スタート」をクリックしてメニューから、「検索」「ほかのコンピュータ」をクリックして、「検索コンピュータ」のウィンドウを開き、「コンピュータ名」の名前に、sakura と記入して、「検索開始」をクリックすると検索を始め、sakura を見つけ出します。(図 40)



図 40. 検索コンピュータ

sakura が見つからない場合は、TCP/IP のプロパティの「DNS 設定」で、「DNS を使う」になっていないか、ドメインに kudpc.kyoto-u.ac.jp が記入していないか、DNS サーバーの検索順に 130.54.9.11 が記入されていない可能性がありますので、確認してください。

もし、何らかの理由で上記の設定をなされていないのであれば、ご自分で C:\WINDOWS ディレク

トリの配下に、lmhosts ファイルを作成してください。lmhosts ファイルの中身には、

```
130.54.9.11 sakura
```

と、書きます。この lmhosts ファイルを用意しておけば、ドメインが kudpc.kyoto-u.ac.jp 以外にも、sakura を見つけることができます。

見つけた sakura のアイコンをマウスでダブルクリックすると、「sakura」のウィンドウが開きます。(図 41)



図 41. sakura

「sakura」のウィンドウには、利用できるファイルとプリンタのアイコンが表示されています。

利用できるファイルは、public と tmp、そしてあなたの利用番号がフォルダのアイコンで表示され、利用できるプリンタは、color、lino、lw、pictro、ryomen がネットワークプリンタのアイコンで表示されています。

あなたの利用番号 (ここでは、w55037) をダブルクリックすると、PPP 接続して初めて利用する場合は、まず、「ネットワークパスワード」の問い合わせのウィンドウが開きます。(図 42)



図 42. ネットワークパスワードの入力

パスワードの欄に、sakura のパスワードを記入して、「OK」をクリックすると、sakura のあな

たのホームディレクトリが開き、これで、sakuraのファイルをPCから自由に利用できます。このパスワードを保存するのチェックボックスをマークしておく、次回からこの「ネットワークパスワードの入力」のウィンドウは開かず、直接 sakura のファイルを利用することができます。

もし、「Microsoft ネットワーク」のウィンドウが開き、「パスワードが間違っています。もう一度入力してください」のメッセージが表示された場合は、「OK」をクリックしてウィンドウを閉じ、パスワードを確認してもう一度試してみてください。

Microsoft ネットワークのユーザー名に、本センターの利用番号以外を記入されている方は、「sakura」のウィンドウにあなたの利用番号のフォルダが表示されていないはず。このような方は、手動でネットワークドライブの割り当てを行ってください。

「ネットワークコンピュータ」のアイコンをマウスの右ボタンでクリックして、メニューから「ネットワークドライブの割り当て」をクリックすると、「ネットワークドライブの割り当て」のウィンドウが開きます。(図 43)



図 43. ネットワークドライブの割り当て

ドライブの欄は、PCが自動的に用意してくれますので、そのままにしておきます。パスの欄には、¥¥sakura¥w55037 を記入して、「OK」をクリックします。

「ネットワークパスワードの入力」のウィンドウが開きますので、sakura パスワードを記入します。これで、ネットワークドライブの割り当てが完了します。

図 41の「sakura」のウィンドウのツールバーの「表示をクリックしてメニューを開き、「最新の情報に更新」をクリックすると、あなたの利用番号のフォルダが表示されます。

可能な限り、PCの起動後の「Microsoft ネットワーク」のユーザー名は、本センターの利用番号

と同じものにしておくのが良いでしょう。

public のフォルダには、利用者の利便性を図るためにフリーウェアなどがおいてありますので、ご利用ください。Microsoft インターネットエクスプローラ 3.02 もこちらにありますので、PPP 接続してインストールされる場合は、こちらからどうぞ。但し、ファイル容量が10MB程度ありますので、通信速度によっては一時間ほどかかります。パソコン雑誌の付録のCD-ROMを利用されるのが、一番良いかもしれません。

PCから sakura のネットワークプリンタを利用する場合は、プリンタドライバをインストールしなければなりません。

図 41の「sakura」のウィンドウのlwのネットワークプリンタのアイコンをダブルクリックすると、「プリンタ」のウィンドウが開き、プリンタの設定を続けるかどうかの問合わせがありますので、「はい」をクリックすると、「プリンタウィザード」のウィンドウが開きます。(図 44)



図 44. プリンタウィザード

このウィザードに従って設定します。いいえのチェックボックスをマークして、「次へ」をクリックすると、プリンタの製造元とモデルの選択のウィンドウに切り替わります。(図 45)



図 45. プリンタの製造元とモデルの選択

表 2. プリンタ出力の利用負担金

|                          |        |       |
|--------------------------|--------|-------|
| センターのモノクロプリンタに出力する場合     |        |       |
| lw, lino, ryomen         | 1 枚につき | 3 円   |
| センターのカラープリンタに出力する場合      |        |       |
| color                    | 1 枚につき | 70 円  |
| センターのカラー OHP プリンタに出力する場合 |        |       |
| pictro                   | 1 枚につき | 300 円 |

lw の場合は、製造元の一覧から Apple をクリックし、プリンタの一覧から Apple LaserWriter II NTX-J をクリックして、「次へ」をクリックすると、プリンタの名前付けのウィンドウに切り替わりますので、お好きな名前を記入して、「次へ」をクリックします。

インストール後のテストプリントをするかどうかのウィンドウでは、いいえのチェックボックスをマークして、「完了」をクリックして、「プリンタウィザード」のウィンドウを閉じます。

これで、ネットワークプリンタのインストールは完了です。PC に直接接続されたプリンタと同様に利用できますが、本センターでは、プリンタ出力につきましても表 2 のような利用負担金を頂いていますので、気をつけてお使いください。

利用できるプリンタの製造元とモデルは表 3 を参考にしてください。なお、lino, ryomen, pictro は、Windows95 標準のドライバがありませんので、一般的な PostScript ドライバを使用します。

表 3. 利用できるプリンタの製造元とモデル

| 名前     | 製造元        | モデル                        |
|--------|------------|----------------------------|
| lw     | Apple      | Apple LaserWriter II NTX-J |
| color  | Fuji Xerox | Fuji Xerox Acolor SM ICS   |
| lino   | PostScript | PostScript Printer         |
| ryomen | PostScript | PostScript Printer         |
| pictro | PostScript | PostScript Printer         |

## 7 おわりに

以上、PPP 接続のための PC の設定を中心に説明しましたが、紙面の関係からあまり詳しく紹介できませんでしたので、次の機会には、もう少し具体的な利用方法などを紹介できればと思っています。

なお、本稿の執筆には、手持ちのノート PC を机に並べながら行い、できる限り間違いの無いように注意したつもりですが、もし、間違いなどありましたらお知らせください。

表 1、表 2 の利用負担金は、平成 9 年 4 月 1 日現在のもので、利用負担金は、適宜改正されることがあります。

ご意見・ご質問などございましたら、プログラム相談室までご連絡ください。

